

議事 2 平成 29 年度（平成 28 年 10 月－平成 29 年 9 月）地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について

【事業の背景】

国土交通省は、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと密接な地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援を行っている。

東金市では、公共交通不便地域^{*}を解消し、JR 東金線の駅と路線バス・高速バスの停留所との乗り継ぎを図る系統（地域内フィーダー系統）として、事前登録・予約型区域運行のデマンド交通である東金市乗合タクシーを運行しており、上記、国土交通省の支援（地域内フィーダー系統確保維持事業）を活用している。

平成 29 年度地域内フィーダー系統確保維持事業の申請にあたっては、平成 28 年 6 月 29 日開催の平成 28 年度第 1 回東金市地域公共交通会議においてご承認いただいております。平成 29 年 9 月末日をもって終了した当該事業について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 3 条第 5 項の定めのとおり、協議会が事業評価を行い、その結果を地方運輸局長に報告することとなっている。

本件は、上記の通り、東金市乗合タクシーの運行実績を踏まえ、その内容を評価していただくものである。

【評価の概要】

目標は 1 日あたり利用者数 50 人以上とし、これを達成するために、前年度事業の評価結果を踏まえて事業に取り組んだ。具体的には、利用促進及び認知度向上の対策として、広報紙やホームページへの掲載、各地区へのパンフレットの配布、地域に出向いての出前講座の実施、各地区公民館に設置している周知横断幕の新調などにより周知徹底を図った。また、利用希望の集中していた午前 8 時から 10 時までの需要に対応するため、事業者との協議及び東金市地域公共交通会議における承認により、当該時間帯に応援車を 1 台配車することとなった。

結果は 1 日当たり利用者数 48.3 人であった。目標を達成できなかった理由として、利用希望の集中により予約出来ない人が出てくること、乗り合いでの利用が想定より少なく効率良く運行できなくなること、無断での予約キャンセルが発生することにより空白の時間が発生してしまうことなどが考えられる。

【目標を達成するための対策】

運行事業者との更なる増車の協議を進めつつ、配車システムの改修による運行の効率化や無断予約キャンセル抑制による運行の健全化等を図る。

【提出資料】

- ①「別添 1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」
- ②「平成 29 年度 東金市地域公共交通会議（千葉県東金市）（地域内フィーダー系統確保維持事業）」

^{*}公共交通不便地域…半径 1km 以内に鉄道駅、バス停等の存在しない区域